



紅葉を楽しみながら、 体づくり(10/24)



中央区健康づくり元気会および中央区主催の「藻岩山山麓ウオーキング」が開催され、秋晴れの下、約100人がさわやかな汗を流しました。参加者は、電車事業所横（南22西15）から中央図書館、山鼻中学校横を通り、藻岩山ふもとの水道記念館（伏見4）までの約2*₀を歩きました。

チームワークが大切(11/11)

中央体育館（大通東6）において、中央区体育指導委員会主催の「インドア雪合戦大会」が開催され、12チーム約90人が参加しました。

これは、集団競技を通じてチームワークの大切さを知り、子どもたちの交流の輪を広げることを目的に開催され、今年で6回目となります。

各チームは、選手の役割や攻撃・守備の方法などに工夫を凝らし、チームワークを競い合いました。観客席からも選手たちに大きな声援が送られていました。



文化の秋、にぎわう芸能祭(10/27)



山鼻小学校（南14西10）において、「曙ほのぼの芸能祭」が開催され、曙地区の住民ら約400人が参加しました。

この芸能祭は、地域の芸術・文化活動を発表する場として平成17年に開催された「曙ほのぼの文化展」に始まり、今年で3回目。これまでは旧曙小学校舎（南11西9）で行っていましたが、改修工事のため、今回は山鼻小学校を利用して開催されました。

第1部では、同校スクールバンドや中島中学校合唱部が練習の成果を披露、地域住民によるフラダンス、日舞、民謡、合唱なども行われました。観客は手拍子や歓声で会場を盛り上げました。

第2部では、曙地区連合町内会創立35周年記念事業として、落語家と漫才コンビを招きました。

空き教室では、子ども縁日や手作りバザー、子育てルームも開かれ、親子連れでにぎわいました。